

拠点 6 清瀬市子どもの発達支援・交流センター

1. 事業概況（運営方針・目標の実施状況）

1) 基本理念・運営方針

2025 年度は法人全体、そして各事業所ごとに中期計画の作成にあたってきた。そうした中、清瀬市子どもの発達支援・交流センターが大切にしていることとして、「地域と連携・交流しながら地域にくらす親子をささえる」を基本理念として、法人が長年にわたり培ってきた実績に基づく理念「受容的交流」や、現スーパービジョン体制の下に心身の発達に遅れやかたよりのある子ども、さらに社会生活上何らかの問題を持つ子どもの相談・訓練指導を通して成長・発達を援助し、地域での育ちを支えることであることを再確認し、そこを目的とし運営を行った。

また、対象となる本人や家族だけではなく、その方を取り巻く関係者への支援をする等、環境を整えることで安心・安全に過ごせる環境調整をはかってきた。相談・療育・支援の場の提供だけではなく、地域の支援力の向上に努めることで地域療育の拠点となることを目指し、地域活動にも積極的に参加をしながら連携に努めた。

基本方針を以下の通りとし、各事業に取り組んだ。

- ① 誰もが利用しやすいセンターを目指す。
- ② 複数の専門家によるチームアプローチにより一人ひとりの子どもに応じた支援を展開する。
- ③ 各種機関の連携の核となり、地域に開かれた地域療育の核となることを目指す。
- ④ 家族の不安や負担を軽減し、家族が適切に子どもに接し子育てができるようにするための家族支援を行う。
- ⑤ 地域の人材育成、支援力の向上に寄与することをめざす。

2) 各事業について 2025 年度の事業計画、上記の基本方針と照らし合わせて実施状況を報告する。

○相談支援の充実・強化

2025 年度は新規相談件数は 173 件で 2024 年度 184 件とほぼ同様の件数であった、再相談は 2024 年度は 30 件であったが 2025 年度は 63 件と倍以上となっている。再相談が増えている背景としてはステージの変化による相談が多く、以前のとことこ利用の経験から「相談」に対するハードルが低いことは考えられる。特別支援教室利用を目的に知能検査の実施を主訴とした相談は多い。しかし単純に「入室のため」だけでなく学校としては検査をきつ

かけに必要な支援につなげる糸口としたい意図があったり、本人の自己理解につなげるなどの必要性を持ってセンターにつながっている。心理士、言語聴覚士などの専門性を持った職員がかかわることで多角的なアセスメントが展開できる基盤をとことこでは整えている。

アセスメントした内容や今後必要であろう支援については、保護者に丁寧に説明することはもちろん社会資源を有効に使うことのハードルを下げているように関わっている。

「センター機能」の充実に向けて、今まで継続してきた保育士や幼稚園教諭に向けた研修の他に保育園の保護者会の時間帯に保護者向けの「子どもの育ち」の内容で親子のコミュニケーションを絡めた話をする機会を2回ほどいただいた。とことこへの相談につながる前段階での対応力を考えてもらう機会となった。

近年、子どもの相談を受けるにあたって環境としての家族を考えていく必要があるケースが増えている。とことこだけで抱え込まずに、他機関（子ども家庭センター、所属園、所属校）との連携にどうつなげ、より良い支援にしていけるかを考えてきたが、今後の課題でもある。

○療育体制の充実

職員のスキルアップを目指し、相談・療育・巡回などで経験のある職員の陪席の時間が確保できる体制を整えた。また「ケース会議」を月2回行うことでセンター内の相談の理解につなげたいと考えた。ケースをあげることのハードルが高くないようケース会議の持ち方の工夫をしたり、親担当とのアセスメントや支援の方向性について一緒に悩みどころをさぐるなど、抱え込まないことの大切さを共有してきた。

○家族支援の充実

療育内容の報告、保護者相談として年に1～2回の経過報告を行っている。もちろん必要に応じて随時保護者との面談を子ども担当、親担当で行っている。

保護者支援としてペアレントグループを継続した。通園の保護者グループ、1年生 Gr. の保護者グループ、通所している年中・年長の保護者グループの3グループで行った。本人の為にとしていることのはずなのにフォローしているうちに本当に本人の為にになっているのだろうか、と不安になる、といった声が出る中でグループ内で一緒に考えることで「なるほど」がたくさんうまれた、といった意見が出ている。心配事、困り感を持っているのは自分だけではないという孤独感を軽減できる場となっている。同時にどう対応すると親子ともにストレスなく過ごすことができるのか、といったことを話し合い自らが気付く場になっている。

*ペアレントグループ

母子グループ保護者対象	1回
年長グループ保護者対象	2回
1年生グループ保護者対象	3回

通園利用者保護者対象 2 回

＊保護者交流会（通園） 1 回

保護者会（通園） 3 回

保護者会（1 年生 G） 1 回

○地域支援

＊センター公開講座

・7 月 5 日（土）10：00～11：45（WEB 開催）

「発達に課題のある子どもの偏食

～食べることに困難をかかえやすい子どもについて～」

講師 大山 牧子 氏

参加者 79 名

・1 月 31 日（土）10：00～11：45（WEB 開催）

「発達に課題のある子どもの睡眠

～眠ることに困難をかかえやすい子どもについて～」

講師 木村 一優 氏

参加者 70 名

＊出前講座・講師派遣

- | | |
|---------------------|-----------|
| ・中清戸保育園出前講座 | 05 月 25 日 |
| ・第一保育園出前講座 | 09 月 24 日 |
| ・子育て世帯訪問支援事業支援者養成講座 | 11 月 11 日 |
| ・第三保育園 出前講座 | 02 月 04 日 |
| ・第一保育園出前講座 | 02 月 28 日 |
| ・理解推進事業研修会 | 07 月 25 日 |

＊巡回

保育所・幼稚園への巡回相談支援では、訪問前に先生方に記入・提出していただくシートに関してはより簡単ではあるが中身の濃い支援シートの工夫をした。

・保育所 のべ 43 園 261 名

・幼稚園 のべ 21 園 175 名

○児童発達支援事業（通園）

相談支援を入口にして小集団での療育が適している 18 名の利用があった。近年の傾向として並行利用（所属園に通いながら週に何日か児童発達支援を利用）がほとんどである。所属園との連携を丁寧にすることが利用児にとって小グループでの経験を所属園に汎化する糸口となると考えている。保護者の承諾はもちろん、所属園の訪問や連携の受け入れはスムーズではあるが、担当児が園生活を送っている時にはスタッフも療育対応中であり電話での連携

にとどまることも少なくなかった。

集団としての年間計画、月間計画、週間計画それぞれの連動はもちろん個別支援計画とどう連動させていくかを今まで以上に意識した 1 年であった。そのためには職員の専門性を活かした組み方、グループとしての曜日ごとの凝集性をどう育てていくか、等の工夫をおこなった。

園との連携日を設けたことでセンター職員にとっては所属先での困難感の理解、園の先生方にとっては、こんなことにも興味を持てる、こんな誘い方で参加に繋がる…といったように大きな集団では見られない児の様子をお伝えできる場となり。双方にとって児の理解を深め、児への関わりに厚みを持たせた工夫につながった。

3) 実施状況

※別紙添付

2. 月間・年間行事等実施状況

※別紙添付

3. 職員体制

※別紙組織図添付

4. 職員研修

1) 法人内研修

フォローアップ研修	06 月 14 日	01 名
ファシリテーション研修	09 月 01 日	06 名
田中ビネー研修	09 月 29 日	18 名
ST SV 研修	5/31、8/4、11/17、1/14	
専門職会	7/12、10/25、11/22、1/17	
センター内研修（ケース会議/相談支援員）		
05/30・06/09・06/30・07/14・07/31・08/05・08/23・08/29・09/29		
10/21・10/27・10/29・11/19・11/25・12/22・01/16・01/29・02/24		
スタートアップ研修、ステップアップ研修	3/14	2 名
法人職員まとめの研修	02 月 21 日	10 名
法人職員そなえの研修	03 月 19 日	16 名

2) 外部研修

月日	研修名	開催場所	人数
04 月 16 日	幼児安全オンライン講習	WEB	1
05 月 28 日	令和 7 年度第 1 回児童・青年期臨床精神医療講座入門基礎コース	WEB	1
05 月 28 日	熱中症対策訓練	清瀬小学校	1
05 月 29 日	幼児安全短期講習	武蔵野赤十字保育園	1
06 月 12 日	プール事故防止研修	WEB	1
06 月 18 日	プール事故防止研修	WEB	1
06 月 25 日	令和 7 年度第 2 回 児童・青年期臨床精神医療講座入門基礎コース	WEB	1
06 月 27・ 28・29 日	K 式初級講座	京都国際社会福祉センター	1
07 月 01 日	プール事故防止研修	WEB	1
07 月 04 日	相談支援スキルアップ研修（事例提供）	ワイルド高田馬場	1
07 月 23 日	第 3 回児童・青年期臨床精神医療講座入門基礎コース	WEB	1
07 月 24 日	虐待防止研修	WEB	1
08 月 07 日	発達障害のある人へのアセスメント技術を高める	ワイルド御茶ノ水	2
08 月 31 日	「障がいのある子ども・若者の性教育」 もっと楽しくもっと自由に性を語ろう！	WEB	1
09 月 13 日	相談研修Ⅱ「乳幼児期の発達障害～理解と支援～」	ワイルド高田馬場	1
09 月 21 日	「障がいのある子ども・若者の性教育」 もっと楽しくもっと自由に性を語ろう！	WEB	1
10 月 19 日	「障がいのある子ども・若者の性教育」 もっと楽しくもっと自由に性を語ろう！	WEB	1
01 月 11 日	支援者支援コーディネーター養成講座 支援者支援養育論	WEB	1
01 月 20 日	厚生労働省ハラスメントオンライン研修講座	WEB	1
01 月 22 日	アサーティブコミュニケーション研修	WEB	1
01 月 23 日	知的障害教育における探求的な学びの創造	学芸大学附属特別支援学校	1
01 月 23 日	管理職研修	両国	1
01 月 24 日	通所施設における発達障害のある人への支援の実践	ワイルド御茶ノ水	2

02 月 15 日	支援者支援研究会	WEB	1
02 月 16 日	東京都サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者専門 コース別研修	WEB	1
02 月 17 日	東京都サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者専門 コース別研修	WEB	1
02 月 18 日	アサーティブコミュニケーション研修	WEB	1
02 月 18 日	東京都サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者専門 コース別研修	WEB	2

5. 実習生・見学者等の受入れ

1) 実習生 （社会事業大学 学生） 7 月～9 月 20 日間×2 名

2) 職場体験（中学生） 今年度なし

3) インターンシップ、職場体験、採用面接 9 月～3 月 15 名

4) 見学者

見学者所属	月日	人数
清瀬どろんこ保育園	4 月 2 日	2
B プラン	4 月 22 日	2
清瀬どろんこ保育園	5 月 28 日	2
第一保育園	6 月 12 日	2
第一保育園	6 月 18 日	1
清瀬市教育委員会	6 月 19 日	1
第一保育園	7 月 1 日	2
B プラン	7 月 29 日	2
子ども家庭支援センター保健師	7 月 29 日	2
第七小学校教諭	8 月 1 日	2
どろんこ保育園	8 月 20 日	1
B プラン	10 月 7 日	2
小平市児童発達支援センター	10 月 16 日	5
日本社会事業大学 学生	11 月 18 日	12
通園利用者両親	12 月 17 日	2

6. 施設整備等

1) 施設整備（建物改修含む）

無線 LAN アクセスポイント ￥83,600

2) 備品等購入

PC3 台 ￥367,950（@122,650×3）

デジタル身長計 ￥71,500

別 紙(事業報告書関係)

年 間 行 事 等 実 施 状 況

項 目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日 回数	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	件	内 容
4月				お誕生会		通園スタッフ会議（毎週火） 相談スタッフ会議（1回/月） ケース会義（2回/月） 運営会議（第4月） 医療相談（1回/月）					4	巡回相談 支援会議
5月	1回 2回 2回	年長Gr. 1年生Gr. 5年生Gr.		保護者交流会		同 上 勉強会（外部講師）					9 3	巡回訪問 支援会議
6月	2回 2回 2回	年長Gr. 1年生Gr 5年生Gr.				同 上	22	避難訓練			12 12	巡回訪問 支援会議

	1回	母子Gr.									
7月		センター公開講座		通園ﾌﾟｰﾙ活動開始		同 上				1	巡回訪問
	2回	年長Gr		通園保護者会						9	支援会議
	2回	1年生Gr.									
	2回	5年生Gr.									
	2回	母子Gr.									
8月	1回	年長Gr.				同 上 勉強会（外部講師）	WEB 171			4	巡回訪問 支援会議
		1年生Gr.					利用訓練				
	1回	5年生Gr.					防火訓練				
	1回	母子Gr.									
	1回	吃音Gr.									
		昨年5年生Gr. 同窓会									
9月	2回	年長Gr,		通園ﾌﾟｰﾙ活動終了		同 上	WEB 171		生活習慣病等	8	巡回訪問
	2回	1年生Gr.					利用訓練		職員健康診断	10	支援会議
	1回	5年生Gr.					防火訓練				
	2回	母子Gr.									

	1回	ペアレントGr.									
10 月	2回	年長Gr.			同 上					5 8	巡回訪問 支援会議
	2回	1年生Gr.									
	2回	5年生Gr.									
	2回	母子Gr.									
	3回	ペアレント Gr.									
11月	1回	年長Gr.		とこりびっく週間	同 上					9 4	巡回訪問 支援会議
	1回	1年生Gr.		(分散開催)							
	2回	5 年生 Gr.		通園保護者会							
	1回	母子 Gr		(分散開催)							
	1回	ペアレント Gr.		通園ペアレントグループ							
12月	2回	年長Gr.		クリスマス会				防災訓練		6 6	巡回訪問 支援会議
	2回	1年生Gr.		通園ペアレントグループ							
	1回	5年生Gr.									
	2回	母子Gr.									
	2回	ペアレント Gr.									

1月		センター公開講座					嘔吐排泄物処理方法訓練			7	巡回訪問
	1回	年長Gr.								3	支援会議
	2回	1年生Gr.			同 上						
	2回	5年生Gr.			勉強会（外部講師）						
	1回	母子Gr.									
	1回	ペアレントGr.									
2月	2回	年長Gr.		通園まめまき		同 上				7	巡回訪問
	1回	1年生Gr.		通園保護者会						2	支援会議
	1回	5年生Gr.									
	2回	母子Gr.									
3月				お別れ会		同 上	避難訓練				運営協議会
						全体職員研修					巡回訪問
						臨時運営会議	避難訓練（法人）			4	支援会議
						スタート・ステップ					
						アップ研修（法人）					
						全体職員研修（WEB）					

組織図(清瀬市子どもの発達支援交流センター（とことこ）)

